

経 営 状 況 報 告 書

令和 7 年度 事業報告

令和 8 年度 事業計画

豊橋駐車場 株式会社

I 令和7年度 事業報告

1 会社の現況に関する事項

(1) 事業の経過及びその成果

当会計年度における我が国の経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復傾向が見られたものの、物価上昇や人件費の増加、エネルギー価格の高止まり等の影響により、先行き不透明な状況が続きました。

当社を取り巻く事業環境においては、中心市街地を訪れる来街者の動向に多様化が見られ、従来の買い物、飲食及び図書館の利用に加え、近隣の多目的広場や大豊商店街における各種イベントを目的とした来街者が増加しています。これに伴い、時間貸し駐車場の利用時間及び利用頻度が増加し、現金利用及び回数券等のサービス券販売の増加に寄与しました。

このような状況の下、当事業年度の売上高は堅調に推移いたしましたが、施設維持管理費や人件費等の運営費用は上昇傾向にあります。当社としては、今後も安定的なサービス提供と施設の適切な維持管理を図るため、引き続き収益構造の見直しを含めた各種施策を検討し実施していきます。

当社の第39期経営成績は、売上高212.4百万円（前年比104%）、販売費及び一般管理費187.7百万円（前年比99%）、経常利益23.7百万円（前年比199%）、当期純利益4.6百万円（前年比43%）を計上するに至りました。

なお、当期は、お客様の物損事故等に伴う設備の修繕として、損害賠償金の受領及び修繕工事の支払のため特別利益及び特別損失を計上しています。

内訳として「パーク500」の第39期の経営成績は、売上高137.9百万円、販売費及び一般管理費113百万円、経常利益22.7百万円、当期純利益3.7百万円を計上するに至りました。

また、公共駐車場の経営成績は、年間指定管理料の74.4百万円を売上計上し、運営費用として74.6百万円を計上しましたが、電源使用料等の雑収入1.1百万円により0.9百万円を利益としました。この利益については、令和8年4月以降の指定管理料の一部として繰り越し、今後も公共駐車場躯体の保守管理・修繕等の費用に充て、老朽化の防止と利用者の安全性向上に役立てていきたいと考えます。

(2) 会社が対処すべき課題

ア 当社は、豊橋市と地元企業等により設立された第三セクターの駐車場経営会社であり、中心市街地の駐車場及びまちなかのにぎわい創出のため、豊橋市を始め、地元企業等との連携を図りながら諸施策を展開してまいります。

イ 当社は、当社直営の「パーク500」と、駅前地区にある3か所の公共駐車場を含め4か所の大型駐車場の運営に当たっています。これら駐車場とまちなかの活性化施策との連携を図り、来街者の利便性向上を進め、当該地区のにぎわい創出の一助となるように努めてまいります。

ウ 駅前地区にある大型駐車場の一括マネジメントを進め、公共交通インフラの立場からまちなかの活性化に貢献しつつ、利益体質の企業として成長できるよう努めてまいります。

(3) 財産及び損益の状況の推移

	令和5年度 (第37期)	令和6年度 (第38期)	令和7年度 (第39期)
	令和5年4月1日から 令和6年3月31日まで	令和6年4月1日から 令和7年3月31日まで	令和7年4月1日から 令和8年3月31日まで
売上高	111,180千円	204,197千円	212,478千円
経常利益	1,856千円	11,930千円	23,722千円
当期純利益	879千円	10,953千円	4,667千円
1株当たり当期純利益	767円	9,549円	4,069円
総資産	1,428,802千円	1,418,820千円	1,374,247千円
純資産	1,102,857千円	1,113,811千円	1,118,478千円

(注) 売上高は、全て消費税を除いて計上

(4) 主要な事業内容（令和8年3月31日現在）

当社は、駐車場法にのっとり、以下のアからウまでによって地下自動車駐車場の経営を行っています。

ア 駐車時間に応じて1車両ごとに駐車料金を徴収する。

イ 定期駐車券（全日制定期券・夜間定期券・24時間入出庫対応定期券）を駐車場の利用状況に応じて販売する（駐車位置は、指定しない。）。

ウ 料金設定は、内税方式とする。

(5) 従業員の状況（令和8年3月31日現在）

従業員数	前年度末比増減
31名	1名増

(6) 借入先（令和8年3月31日現在）

借入先	借入金残高
豊橋信用金庫	215,000千円
豊橋商工信用組合	28,125千円
合 計	243,125千円

Ⅱ 令和7年度 決算報告
貸 借 対 照 表
(令和8年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
流 動 資 産	66,753,417	流 動 負 債	17,274,562
現 金 預 金	64,142,306	1年内返済予定の長期借入金	10,000,000
売 掛 金	1,271,262	未 払 費 用	4,650,647
貯 蔵 品	8,798	預 り 金	242,678
前 払 費 用	1,331,051	前 受 収 益	108,900
		未 払 消 費 税	1,295,337
		未 払 法 人 税 等	977,000
固 定 資 産	1,307,493,615	固 定 負 債	238,493,654
有 形 固 定 資 産	1,306,833,615	長 期 借 入 金	233,125,000
建 築 物	1,305,826,577	退 職 給 付 引 当 金	5,368,654
構 築 物	3		
什 器 備 品	1,007,035	負 債 合 計	255,768,216
無 形 固 定 資 産	600,000	(純 資 産 の 部)	
ソ フ ト ウ ェ ア	600,000	株 主 資 本	1,118,478,816
投 資 そ の 他 の 資 産	60,000	資 本 金	100,000,000
出 資 金	60,000	そ の 他 資 本 剰 余 金	1,047,000,000
		利 益 剰 余 金	△28,521,184
		繰 越 剰 余 金	△33,188,725
		当 期 純 利 益	4,667,541
		純 資 産 合 計	1,118,478,816
資 産 合 計	1,374,247,032	負 債 及 び 純 資 産 合 計	1,374,247,032

損 益 計 算 書

(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	金 額	
売上高		212,478,193
売上総利益		212,478,193
販売費及び一般管理費		187,713,068
給料賃金	58,225,665	
賞与	5,165,750	
諸手当	4,048,461	
退職金	312,000	
法定福利費	6,264,131	
福利厚生費	724,249	
支払手数料	714,545	
交際費	362,672	
広告宣伝費	312,053	
消耗品費	4,252,061	
会議費	74,603	
新聞図書費	9,524	
事務用品費	958,232	
水道光熱費	531,238	
電力費	18,696,656	
旅費交通費	65,542	
通信費	848,476	
租税公課	7,673,205	
修繕費	7,111,339	
保守管理料	17,815,943	
保険料	1,415,686	
貸借料	3,794,400	
リース料	2,859,800	
減価償却費	37,536,351	
支払管理料	3,092,812	
雑費	4,847,674	
営業利益		24,765,125
営業外収益		3,173,615
受取利息及び受取配当金	174,350	
雑収入	2,999,265	
営業外費用		4,216,069
支払利息	4,216,069	
経常利益		23,722,671
特別利益		21,526,870
損害賠償金受取額		21,526,870
特別損失	39,605,000	

修繕費	39,605,000	
税引前当期純利益		5,644,541
法人税、住民税及び事業税		977,000
当期純利益		4,667,541

株主資本等変動計算書

(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

(単位：円)

	株 主 資 本				純 資 産 合 計
	資 本 金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	
		そ の 他 資 本 剰 余 金	繰越利益剰余金		
前 期 末 残 高	100,000,000	1,047,000,000	△33,188,725	1,113,811,275	1,113,811,275
当 期 変 動 額	0	0	0	0	0
当 期 純 利 益	0	0	4,667,541	4,667,541	4,667,541
当 期 末 残 高	100,000,000	1,047,000,000	△28,521,184	1,118,478,816	1,118,478,816

Ⅲ 令和8年度 事業計画

1 事業計画の概要

当社は、直営駐車場である「パーク500」の運営に加え、令和6年度から株式会社豊橋まちなか活性化センターとの共同企業体により、駅前地区公共駐車場の指定管理業務を担っています。これにより、駅前地区に存在する大型地下駐車場を一体的に運営する体制が整い、駐車場経営と中心市街地活性化施策を連携させることが可能となりました。引き続き、令和8年度も第三セクター企業として公共的使命を果たしながら、持続可能な経営基盤の確立と収益力向上を図るため、各駐車場の特性を活かした運営を推進していこうと考えます。

Ⅳ 令和８年度 収支予算
(令和８年４月１日から令和９年３月３１日まで)

(単位：円)

科 目	金 額	
売 上 高		214,280,000
料 金 収 入	139,120,000	
賃 貸 料 収 入	670,000	
指 定 管 理 料 収 入	74,490,000	
売 上 総 利 益		214,280,000
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		210,000,000
営 業 利 益		4,280,000
営 業 外 収 益		1,500,000
営 業 外 費 用		4,700,000
経 常 利 益		1,080,000
税 引 前 当 期 純 利 益		1,080,000
法人税、住民税及び事業税		977,000
当 期 純 利 益		103,000